

部活動指導における好事例 No. 3 R2. 9月発行

<基本情報>

管内:胆振管内

学校名:北海道鷗川高等学校

間口数・生徒数:1学年2間口・137名

部活動数:運動部 4部(野球・バドミントン・サッカー・ソフトテニス)

文化部 5部(吹奏楽・軽音楽・家庭科・ボランティア・恐竜研究)

<部活動の特徴>

- ・公共交通機関の関係で、下校時間が決まっており、部活動の時間が限定されている。
- ・体育館を使用する部活動はバドミントン部のみであるなど、活動場所が重なることがなく、占有して活動することができる。
- ・部活動の練習だけでは物足りないと感じた生徒のために、町教育委員会(社会教育)との連携のもと**町の協会**(バドミントン・サッカー・ソフトテニスなど)**の活動に地域住民として参加**することで、大人とスポーツを楽しむとともに、練習時間を確保している。

Good Point

- ・地域住民として参加するこの時間は、顧問は部活動指導に当たらないので、勤務時間の縮減につながっている。



【町協会の選手とともに練習しているサッカー部のメンバー】

<生徒の声>

- ・放課後の部活動の活動時間が限られており、もう少し練習がしたいと考えていた時に、校長先生が町の教育委員会に相談していただき、**一般の方と一緒に練習する機会**を得ることができました。部活動だと高校生しか練習しないのですが、大人の人と一緒に練習することで大きな刺激となり、**新たな発見**がありました。そのことが、技術面や精神面の向上にもつながり、とてもプラスになっています。(バドミントン部、1年生部員)

今後も、各学校の部活動での工夫を紹介し、広く共有することを目指しています。「うちの部活動の工夫を紹介したい!」という学校は、御連絡ください。

連絡先:北海道教育庁教職員局教職員課部活動対策推進係
電話:011-206-6067(直通) FAX:011-232-1051
電子メールアドレス:kyoiku.bukatsu@pref.hokkaido.lg.jp

